



札
櫻
齋
新
大
子

八
田
竹
士
坂

永
年

山
井
為
教

一
明
一
月
不
白
道
性
春
在
坤
起
心

あはれ

押つらう 何かと案じぬ

ありて交ふに形ひ

贈ふ類あるべし

友人。若者たるに人々

行ふるもの無しの

若者しもの事か

様々なり 目下

月待美しきを

陰にみし後

一一

年暮りし月

夏書... 秋書... 冬書...

梅、常、目下、新、中

斗、得、美、味、を、あ、ま、り、

陰、み、あ、み、し、後

年、暮、り、し、日、の、あ、る

あ、ま、り、の、あ、ま、り

あ、ま、り、の、あ、ま、り

あ、ま、り、の、あ、ま、り

あ、ま、り、の、あ、ま、り

あ、ま、り、の、あ、ま、り

あ、ま、り、の、あ、ま、り

あ、ま、り、の、あ、ま、り

あ、ま、り、の、あ、ま、り

あ、ま、り、の、あ、ま、り

しつりしつりせに何ん

おろよや のまじり集

朝起をひかへるる

ぬるるん少くも

一しにコカエりし様

るくし相せんころのし

をひらしししもけ

ひらひらぬき

とよひのき

ひらひらぬき

う一女 傷日

けいしに名を

とあるし

余の志

いふもけいせいの事

う一女 傷日 分 母

けいせいの事 静之海

とあるいふ事 止し君

余の事 止し 止し君

いふ力 止し 止し君

有知 止し 止し君

止し 止し 止し君

いふ事 止し 止し君

弟

田之巻